

令和5年度第1回一関市学校給食センター運営委員会 会議録

1 開催日時 令和5年7月27日(木)午後3時から午後4時30分まで

2 開催場所 花泉支所 東大会議室

3 出席者

- (1) 委員 村上正和委員(委員長)、佐藤律子委員(副委員長)、
佐藤幸雄委員、三浦仁委員、門田徹委員、佐々木晋委員、
菅原宰喜委員、佐藤孝泰委員、関東禎志委員、佐藤伸也委員、
村上和也委員、千葉律子委員、葛西典子委員、板井直之委員、
菅野ゆう子委員

※欠席者 阿部徹委員

- (2) 事務局 小菅正晴教育長、及川和也教育部長、
八木浩司教育部次長兼学校教育課長、
千葉稔西部学校給食センター所長、
黒川俊之西部第二学校給食センター所長、
千葉一枝真滝学校給食センター所長、
猪股浩子花泉学校給食センター所長、
菅原春彦大東学校給食センター所長、
橋本雅郎千厩学校給食センター所長、
金野幸学校教育課課長補佐兼保健係長、
岩渕芳枝学校教育課栄養主査、菊池可奈子学校教育課主任主事

※欠席者 遠藤実教育総務課長

4 委員長の選出

事務局から、村上正和委員を委員長とする案を提案し、同委員が選出された。

5 議題

- (1) 一関市学校給食センターの運営について
(2) 食育の状況について
(3) 学校給食費の納付方法及び納付期限等について
(4) 学校給食費の収納状況及び収納対策について
(5) その他

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者数 0人

8 小菅正晴教育長あいさつ

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行になりまして、だいぶ収まりつつある様子が見えてきました。1学期は終わりましたが、各学校での給食についても、少しずつ対面での部分が始まっているのではないかと思います。ただ、ここにきて、また市内での新型コロナウイルス感染者が多くなり、今も増えつつある状況ですので、2学期が心配な部分もありますが、いずれ、社会全体としては、社会活動が前のように行われるようになったと思っております。

さて、この3月に多くの学校統合がありまして、小中学校併せて10校ほど閉校式を行い、新しく2校が開校いたしました。人口減、そして子どもの数が減少するという中で、やむを得ず統合を進めてきたところでありますが、今後についてもよく注視していかなければならないと思っております。学校が統合して、子ども達の数が減っているということは、給食の配食数も同時に減っておりますので、将来的に給食センターの構成も検討しなければいけない時期がくるのではないかと考えております。子どもの数の減少というのは、様々な部分で、学校の数もそうですし、教職員の数もそうですし、給食センターについてもそうですが、様々な形で変化せざるを得ない部分がありますので、それを捉えながら私たちは対応していかなければいけないと思っております。

同時に、昨年度あたりから物価高が大変な状況になっておりまして、後で説明があると思いますが、令和4年4月と令和5年3月の物価指数を比べると、物価上昇率が10%を超えている状況であります。当然、これが食材費に直接響いてきますので、給食の提供については非常に神経を使いながら考える状況になっております。現在は、各給食センターで上手に工夫しながら、栄養価を確保して給食を提供しているところではありますが、これについても、今年度も物価高が収まっておらず、上昇し続けている状況ですので、全国的にも大きな課題であると思っております。先日のテレビで、この物価高の中で、子どもに食事を十分に食べさせられない家庭が増えてきているというニュースを見ました。学校がある期間は、給食があるからいいのだけれども、夏休みになると給食がないため、そういう家庭がさらに心配というニュースでした。まさに、家庭によってはそういう状況が出てきているのではないかと思います。逆に言うと、給食というのは、それだけ家庭にとって大事なものになっているのだと感じたところでもあります。

本日は、給食センターの運営について皆様から様々な意見をいただきたいと

思っております。給食費の公会計化により、給食費を保護者が直接市へ支払う形に変わりましたので、これまで給食センターごとに行っていた給食運営協議会が廃止になりました。今後も、意見交換や情報共有は行ってまいります、給食全体のことについて、こういう場で直接意見を聞くのは、この運営委員会が唯一になりました。そういう点でも、皆様方にはぜひ様々な意見を出していただき、今後に繋げていきたいと思っております。限られた時間ではありますが、よろしくお願いいたします。

9 協議内容

(1) 一関市学校給食センターの運営について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

(2) 食育の状況について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 ③の絵本給食について、どのようなものなのか伺いたい。例えば、絵本「ぐりとぐら」に出てくるような大きなカステラが出てくるようなものなのか。内容について紹介してほしい。

事務局 絵本給食に関しては、市のことばの力を育てる教育の「ことばと読書」事業の一環として行っている。

先ほど委員から話があったように、絵本に出てくる料理が、実際に給食の中に出てくるという取組になっている。ただし、給食に出せる料理、出すことが難しい料理があるので、例えば、「14ひきのあさごはん」という絵本のきのこのスープや、「おなべおなべにえたかな？」という絵本のニンジンスープ、「雪窓」という絵本のおでんなど、実際に給食に運用できるような料理が出てくる絵本を一関図書館と連携して選出している。

また、学校の読書普及員の力を借りて、小学校であれば校内放送で読み聞かせをしながら給食を食べるという取組をしている。

委員 個人的に絵本が大好きなので、絵本給食の絵本を子ども達に紹介できる機会があればとても嬉しいと思う。この絵本の中の料理を実際に作りましたというのを、各学校で紹介するような活動までであると嬉しいと思った。

(3) 学校給食費の納付方法及び納付期限等について

(4) 学校給食費の収納状況及び収納対策について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員長 未納の世帯に対して、催促通知や納付書の送付をしているとのことだが、それに対してのリアクションがないままという時には、さらにその上をいくような対応をとるのか。

事務局 学校の先生方に協力していただきながら進めているところではあるが、それでもどうにもならないという時には、最終的には法的措置を執ることになる。今のところ、法的措置まで進んでいる事案はない。

教育長 公会計になり、未納額を児童手当から引去りするようになって、令和3年度は未納額が0円になった。そういう措置をしていなかった時代には、だいたい毎年200万円から300万円くらいの未納があり、収納率が99.7%か、99.8%くらいだった。それが令和4年度でみると、6月末時点で未納率が0.02%なので、99.98%が納入されており、ほとんど100%に近い状況である。そして、児童手当からの引去りが可能になったので、学校が未納者に督促することがなくなったのではないかと思う。そういう点で大きな前進だと思っている。

ただ、先ほど説明があったように、一関市から支給される児童手当からは引去りが可能だが、他のところに住所がある方については引去りができない。そのため、令和4年度は未納になっている世帯が2世帯ある。その2世帯については、学校にお願いしながら特別に個別に計画を作ったりしながら、なんとか収納率が100%になるように支払ってもらえるように進めている。このかたちはうまく推移していると思っている。

委員 電子決済払いはとてもいいと思っている。電子決済払いは納付書払いに含まれているのか。どのくらい電子決済払いをしているのか。

事務局 電子決済払いは納付書払いに含まれており、件数は把握していない。

委員 家にいながら、スマートフォンアプリでバーコードを読み込むだけで支払いができるのですごくありがたい。

委員長 便利なので、学校集金も電子決済にならないのかという声も出てきている。

(5) その他

議長が各委員に対し追加での質問や意見を求めた。以下、質疑応答等。

委員 食育の取組について、11月には和食給食、1月にはもち給食というところで、栄養教諭や各給食センターで工夫をした献立を考え、出汁の工夫などもしているようである。ほかにも、工夫している点などを

教えてほしい。

事務局 まず、和食給食については、11月24日の「いい日本食の日」の前後に合わせて、出汁の旨味や地元食材のおいしさが詰まった和食献立を提供している。以前は一律に、同じメニューを全給食センターで出していたが、物価高騰のあおりを受け、各給食センターで工夫したメニューを提供することとして統一はせずを実施している。和食に特化した内容になっており、例えば、昨年度、西部学校給食センターでは、ごはん、牛乳、いわしのみぞれ煮、ごぼうの炒め煮、里芋ときのこのごまみそ汁といった、体が温まるような和食給食を提供した。

次に、もち給食については、一関地域に伝わる「もち膳」のようなものではなく、ごはんと汁物とおかず、さらにもちがあるというようなもち給食になっている。一関地方に伝わるもち食文化を知って、地域に関心を持ち、理解を深める機会にするために行っている。もち給食は、毎年1月の全国学校給食週間に合わせて実施している。ごはんとおかずとおかずがあつたのもち給食なので、もちは、お雑煮やずんだなど、デザート感覚で食べるというような内容で各給食センターで工夫を凝らして提供している。

委員 放射能の数値について述べられていた部分はあったが、農薬に対する数値というのは報告がない。自分は精神科の看護師をしており、精神発達遅滞や知的障害というのが年々増加しているという統計が出ており、言い切っていないが、その一つの原因として、農薬の数値が関係しているのではないかという情報がある。昨今の異常気象により、農産物の収穫量が減っている中で、農家がどうやって収穫量をあげていくかとなった時に、やはり農薬に頼るという傾向が強いのかと個人的に予測していて、そういう農薬に対する数値というのを日本ではどれくらい厳密に検査をやっているのか興味がある。

事務局 給食で使用する食材のすべてを農薬検査しているかといえば、当市では全部は行っていない。年に1回、当番制で2つの給食センターで農薬検査をしている。その結果を県へ報告し、県が県内の結果をまとめて、農薬検査をした自治体や食材が見られるような資料を提供している。その中で、すごく数値が高い、問題があるというような結果は出ていない。

委員 今、地産地消ということで、地元の食材を使用するということだと

思うが、そうなってくると、契約している農家から野菜を仕入れているのか。道の駅などに野菜を出す農家などは、自分のイメージとしては、どこまで農薬検査をしているのか気になる。野菜の生産地や生産者名、住所は書いてあるが、どういう風に作られた物なのかはなかなか書いていない。給食に出すのであれば、契約農家から購入するものなのか。

事務局 食材を購入する優先順位は、一関市産、岩手県産、国内産、外国産としている。契約農家から購入というものではない。

委員 保健所の立場から申し上げますと、食材すべてを検査しているかというところでは全部は行っていませんが、産直などで販売する予定の野菜や果物の農薬検査は定期的に行っている。もし、基準値違反となれば新聞にも掲載されるので、基準値を超えるものはほぼなく、増えている印象もない。農家が自分たちで、すべての農産物の農薬検査を行えるかというところ、お金がかかることなので難しい。

委員 保護者の立場からすると、残留農薬量は盲点なのではと思うところがある。

例えば、数値がいくらからいくらまでが基準値で、それ以上の数値だと高いということは、一般の人たちにはわからない。そういうのを目で見てわかるように、基本的な知識として、皆がわかるような形にしてもらえれば、食品を見る時にもこれは安全と判断できる。今は情報化社会なので、そういうことも周知されればと思う。

委員 学校給食費関係で、今年度は交付金を活用しながら保護者負担額を上げないようにしているということだが、今朝のニュースでも食用油などがまた値上げになり、今後もさらに物価高騰が進むと報道されていた。保護者が負担する金額について、物価高騰が続いてどうしようもなくなり、臨時で追加徴収するようなことにはならないのか。

事務局 保護者負担額について、年度途中での値上げなどは考えていない。

教育長 今、非常に大事な質問が出た。資料の6ページについて、先ほど説明があったが、改めて見ていただきたい。

令和2年に給食費が改定になり、それを100とした場合の比率が書かれている。令和3年度はほとんど上がらず、物価指数が103%くらいで済んでおり許容範囲だった。そして、昨年度の4月が103.4%

だったのが、今年の3月には113%になった。これを平均すると8%の上昇になる。昨年度はその8%に対して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使用して6%分を補填した。2%足りなかったが、そこは給食センターで上手にやりくりをして供給した。

ところが、令和5年度は113%からスタートし、今度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使用して、8%を補填することにしたが113%と比べてみると、108%と113%で既に5%少ない。それで今やりくりしている状況である。これがどんどん上がっていくと、非常に辛い状態が出てくる。これをどう乗り越えるかと、この後の物価上昇について神経を尖らせている状況である。ただ、基本的に、年度途中の保護者負担額の値上げというのは大きな混乱をもたらすため、そこはやらない予定でいるが、上昇率によっては、今後、何かの方法を考えなければいけない時が来るかもしれない。

ここで、物価上昇により給食センターがどのような苦労をされているのか聞きたい。

事務局 昨年度もそうだったが、今年度も物価上昇が続いている状況で、6月までの賄材料費の状況を見ると、補填があった8%分で今現在はだいたい予算内に収まっている。実際、去年は魚が高いということで、栄養教諭の先生もどういった魚にするか、聞いたことのない名前の魚を使うなど大変苦慮していた。今年に入ってから、肉も高くなってきた状況のようだ。それから卵も高騰になっている。鳥インフルエンザの影響で卵の数が少なかったが、現在は、数は落ち着いているものの、値段がなかなか下がらないという状況である。そういったことを苦労しながらやってきた。

これから、年末に向けてクリスマスなど行事食もある。年明け1月には、もち給食を予定している。もち給食のほかに、各給食センターによっては郷土料理ということで果報だんごも提供している。そういった行事食のことも考えると、今のうちは抑えなければいけないので、心配をしながら、苦労して献立を作っている状況である。

教育長 もう一つ話すと、今は切り詰めている状況である。切り詰めて、嗜好品などのいわゆるデザート回数を減らしたりして対応してもらっている。栄養価は必ず確保するようにしながら、嗜好品の部分は少

し切り詰めながら対応してもらっているのだが、これ以上になると、価格が高い地場産品を減らすなど、そこに手を入れざるを得ない。さらに難しくなってきた場合には、今年ではないが、給食費を上げることも視野に入れたいといけない。もしくは、給食費の金額はそのまま、給食日数を減らすというやり方もある。

ただ、令和2年度に給食費を上げた時には、保護者から日数を減らすというのは不評だった。高くなってもいいから、日数は確保してほしいという意見が大勢だったので、そこも考えなければならない状況である。

一関市学校給食センター条例第5条に、給食費の負担について明記されており、給食センターの運営に要する経費のうち、給食に直接要した費用については、給食を受ける児童及び生徒の保護者並びに職員等の負担とすると書いてある。これは、国の学校給食法も同じ考え方になっている。食材費については基本的に受益者負担、保護者負担という考え方になっている。市もそれに倣ってそういう考え方をしている。そのため、物価上昇が続き対応が難しくなった場合には、今すぐにとということではないが、値上げという選択肢もあり得るかと思っている。

ただ、全国の自治体の中には、給食費を市町村で負担するという動きが出てきており、当市も議会でそういう話題になっている。本当に市の財政が潤沢であればそれも可能なのかもしれないが、どの自治体でも財政的に厳しい状況の中でやりくりしている。そのため、給食費を市が負担し始めるとほかの事業費、例えば、学校へ配当している予算にも影響を受けることになり、どちらかを選択しなければならない形になってしまう。非常に難しい状況になっている。

ちなみに、当市で給食費を無償化した場合、毎年、約3億8千万円が必要になる。この金額がどのくらいなのかというと、例えば、花泉小学校が新たに建設されたが、総事業費が37億円くらいかかった。そのうち、国の補助金などを使い市の負担は7億円くらいだった。そうすると、給食費を全額無償にした場合は、毎年3億8千万くらいずつ必要になるので、2年間で校舎が建つくらいの金額を市が支出しなければならないということになる。これが辛い部分で、どこかに歪みが出てしまう。

今のところは何とか頑張って、切り詰めながらやっている状況であるが、物価上昇や給食費の無償化など今後も注視しながら、もし値上げという話が出た場合には、この委員会の中で議題として皆様の意見を聞きながら、最終的には保護者の多くの意見も聞きながらの対応になってくるのではないかと思う。

委員 資料の中で、盛岡市の物価指数で比較しているが、一関市の物価指数はないのか。なぜ盛岡市を基準にしたのか。

事務局 一関市の物価指数というものはない。総務省が公表している各都道府県の数値を使用しており、岩手県は盛岡市の数値が公表になっている。

委員 給食費の値上げについて、他市町村の動向を注視しながらということだったが、立場上、県に問い合わせをして情報を入手することができるかもしれないので、必要な情報があれば問い合わせ願いたい。

委員 先ほどの残留農薬の話の補足になるが、米に関して、現在出荷している限定純情米、これは減農薬米として出している。十数年、残留農薬などの検査を、サンプルを10個くらいずつ取り、JA全農いわてで検査しているが、十年以上問題があったことはない。東日本大震災以降は、放射能検査も併せて行っており、そちらも問題ないので安心して食べていただきたい。

そしてもう一つ。長期休み中で児童クラブを利用しているが、食育の関係で、月水金はおかずとデザート、汁物を児童クラブで用意してくれている。1食あたり300円くらいかかるが、それでもその日はご飯だけを持たせればいいのでありがたい。それ以外の日はお弁当を作って持たせるので大変である。できれば、金額は少々上がっても構わないので、給食の回数は減らさないようお願いしたい。

委員長 保護者からは給食の回数をもっと増やしてほしいという意見も出ている。

10 担当課 学校教育課